

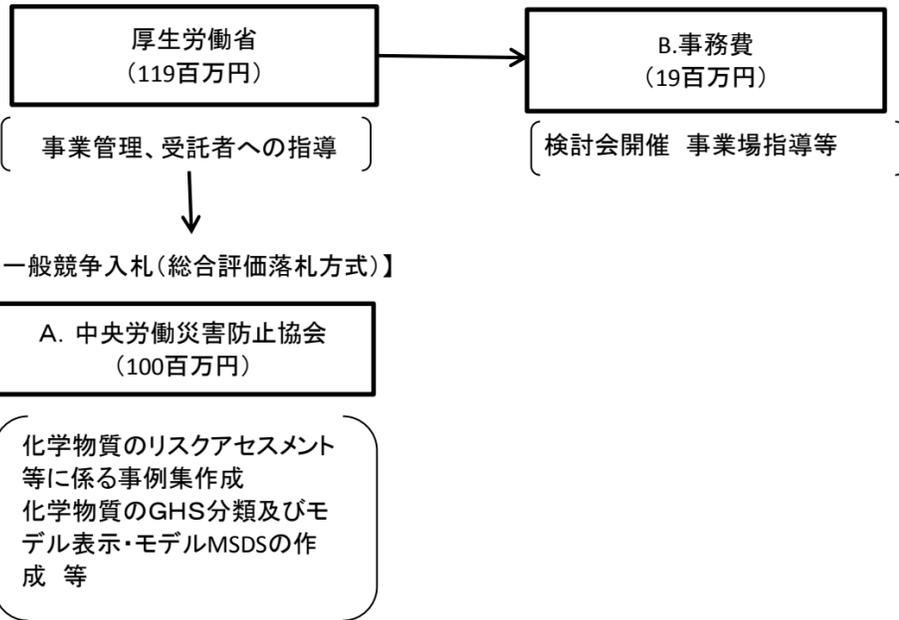
平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	化学物質管理支援事業	担当部局	労働基準局 安全衛生部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度	担当課室	化学物質対策課	半田 有通				
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定	施策名	労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する。					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号	関係する計画、通知等	第11次労働災害防止計画					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	化学物質による労働災害の防止を推進するには、リスクに基づく合理的な管理が不可欠であり、労働安全衛生法関係法令においては、事業者には、化学物質を取り扱う際のリスクアセスメント及びその結果に基づくリスク低減措置を努力義務とするとともに、譲渡提供時における化学物質の危険有害性情報の表示・通知(SDS)を義務若しくは努力義務としている。このため、事業者の実施するリスクアセスメントやSDSの作成等を支援することにより、事業場における自律的な化学物質管理を促進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学物質のGHS(化学品の分類及び表示に関する国連勧告)分類の実施及びGHSに対応したモデルSDS(安全データシート)の作成</li> <li>簡易な化学物質のリスクアセスメント手法の開発及びインターネット等で利用可能なシステムの構築(項目を選択する等により、リスクアセスメントのノウハウの少ない中小企業等でも簡単にリスクや対策が分かるシステムの開発及びホームページ上での公開)等を行う。</li> </ul>							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	205	136	126	87	77	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	205	136	126	87	77	
		執行額	203	136	115			
	執行率(%)	99%	100%	91%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	モデルMSDSのアクセス件数を前年度以上に する (平成21年度以前は、指標として化学物質のリスクアセスメント及びMSDSに係る研修参加事業場において、リスクアセスメント等研修内容に基づき取り組む割合であったため、目標が異なる。)		成果実績 モデルMSDSのアクセス件数		661万件	119万件	119万件	
			達成度	%	101%	18%		
	モデルMSDSについて、「役に立った」とする割合を60%以上に する (平成21年度以前は、化学物質のリスクアセスメント及びMSDSに係る研修参加事業場において、研修が有用、有効であった割合であったため、目標が異なる。)		成果実績 「役に立った」とする割合		98%	98%	98%	
		達成度	%	100%	100%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	【成果目標】 ・250の化学物質についてGHS(化学品の分類と表示に関する国連勧告)分類を行う。(平成22年度) (平成21年度以前は、化学物質についてGHS分類を行うことをしていなかったため、平成22年度と同様に評価できない)		活動実績 (当初見込み)	物質数		253物質	200物質	160物質
					(250物質)	(201物質)		
単位当たりコスト	-		算出根拠	本事業は「化学物質のGHS(化学品の分類及び表示に関する国連勧告)分類の実施及びGHSに対応したモデルMSDS(化学物質等安全データシート)の作成」等の複数のを実施しており、それぞれに要するコストが異なるため、単位あたりのコストを算出することができない。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	事業費	65	55	厳しい予算の中、対象化学物質の数を優先度のより高いものに絞ったため。				
	消費税	3	3					
	行政経費	19	19					
計	87	77						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	化学物質による労働災害防止のため、リスクに基づく合理的な管理を支援するものであり、優先度が高い。また、化学物質による爆発事故や重篤な疾病は国民の関心も高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	国が化学物質の危険有害性の評価を示すことにより、信頼性の高い情報の普及が期待できる。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札による総合評価落札方式により委託先を選定している。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	労働者の健康障害防止のための事業であり、事業者が負担する労災保険から経費を負担するため、妥当。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	専門家謝金など必要なものに限定している。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業者における化学物質に係るリスクアセスメント等の実施やSDS作成の際に活用可能な各種データ(モデルSDS、国のリスク評価の結果等)を公開するとともに、リスクアセスメントのノウハウの少ない中小企業等でも利用可能なシステムを公開しており、実効性は高い。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	平成23年度はこれまでホームページを運営していた安全衛生情報センターから職場のあんぜんサイトに移行した最初の年であったため、アクセル件数は伸び悩んだが、満足度は極めて高く98%である。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	見合っている
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	ホームページで公開するなど活用を図っている。
点検結果	平成23年度はこれまでホームページを運営していた安全衛生情報センターから職場のあんぜんサイトに移行した最初の年であったため、アクセル件数は伸び悩んだが、満足度は極めて高く98%であるため、引き続き業務を実施すべきである。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	化学物質管理支援事業については、事業の計画を精査し、予算の縮減を図ること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	対象化学物質の数の見直しを図った。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	650 - 52	平成23年行政事業レビュー	960

※平成23年度実績を記入

化学物質管理支援事業



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位:百万円)

中央労働災害防止協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他経費	会議費、テキスト代、文献調査費など	51			
委託業務管理費	人件費	26			
謝金	専門家への謝金	14			
旅費	専門家への旅費	3			
消費税		5			
管理諸経費	光熱水料金	1			
計		100	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中央労働災害防止協会	化学物質のリスクアセスメント等に係る事例集作成 化学物質のGHS分類及びモデル表示・モデルMSDSの作成 等	100	1	94
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					